

隊員情報：花田 潤也（農村振興局農地資源課）、佐藤 優生（国土政策局特別地域振興官付）

和水町の魅力ポイント

■面積 98.8km² ■人口 約9,000人 ■指定地域 特定農山村、過疎

- 熊本県の北部に位置する和水町は、2006年に菊水町と三加和町が合併して発足。福岡空港から高速バスで約60分、博多駅から新玉名駅（隣の玉名市所在）まで約40分と、九州外からのアクセスもよい。
- 町出身の金栗四三は箱根駅伝創始者でもあり、日本マラソンの父と呼ばれ、スポーツ振興に尽力（グリコのロゴのモデルともいわれている！）
- 特筆すべき観光地は、「なごみキャンプ場」と「三加和温泉」。また、「江田船山古墳」や「八つの神様」があり、歴史的な史跡巡りができる地でもある。
- 和水町を流れる菊池川流域は、約2000年に渡る水稻の歴史から、文化庁指定の日本遺産にも登録されるほどであり、現在もその豊富な水資源を生かして稲作や農業が盛んに行われている。
- 詳細な観光情報は、↓のURLや銀座熊本館2階で頒布しているパンフレットを参照！



<https://www.town.nagomi.lg.jp/kankou/default.aspx>



なごみキャンプ場



三加和温泉郷



江田舟山古墳と刀の銘文など

和水町の課題

■ 政策分野 定住対策・地域活性化

- 人口減少（2万人超(S22)→1万人割り(R元)）と高齢化（65歳以上の割合は42.5%（R2））に伴って、空き家の増加が顕在化。**お試し住宅等の移住者支援策**に取り組んでいる。
- また、**産業振興**や**知名度向上**に向けて、**企業誘致**に力を入れるとともに、東京の熊本県アンテナショップや肥後細川庭園等の活用により、**東京在住者等へのPR**にも力を入れて取り組んでいる。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 老朽化した道の駅「きくすい」のリニューアルに当たって、PPP/PFIの活用を検討するための調査事業である「先導的官民連携支援事業」等の補助事業を提案
- ⇒現在は、**当該補助事業を活用し、PFI事業による施設リニューアル**に向けて、引き続き検討・調査中
- 農水省の「データ活用による地域と都会をつなぐ実証プロジェクト」により、**消費者データ等のビッグデータを分析**するとともに、今後の町づくりを考える**ワークショップを開催**
 - その他、町所有の未利用地の処分等の個別相談に対し、助言や参考制度の紹介等を実施

取組の成果

- 今回、**交流施設のリニューアル等、一定の期間を要する課題を中心に議論・検討を進めてきたため**、取組期間中に案件を最後まで進めるということは難しかったが、1ヶ月に1回程度の打ち合わせを継続的に行うことによって、意見交換や情報共有等を行うことができ、**取組終了後も気軽に相談ができる関係性を構築**することができた。

今後の展望

- 更なる地域の活性化を図っていくために、今回の取組で中心的に議論してきた交流人口・関係人口の創出に加えて、**移住（Uターン含む）や定住を希望する人が増える環境づくり**に取り組んでいく。
- そのために、**デジタル技術を活用した産業の育成や関連企業の誘致を推進**していく予定。